

5 成績評価

■ GPA 制度

成績評価をより明確にし、学生自身が自らの進捗を把握することにより、授業に対する意識を高め、学修に役立てることを目的として、2009年度より従来の優、良、可、不可の評価方法に代わる GPA 制度を導入しています。

■ GPA (Grade Point Average)

GPA とは、履修登録科目の成績を S、A、B、C、F の 5 段階で評価し、S にグレードポイント (GP) 4 点、A に 3 点、B に 2 点、C に 1 点、F に 0 点を割り振り、それぞれの単位数を掛け、その合計ポイントを履修単位数の総和で割って出した平均点のことです。

$$\text{GPA} = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{成績評価グレードポイント})] \text{の総和}}{\text{履修登録科目の総単位数 (不合格科目の単位を含む)}}$$

■ 成績評価の方法・基準

成績評価は、定期試験の得点のみで評価するのではなく、授業担当教員がシラバスに明示した評価の方法・基準に基づき、準備学習、小テスト、レポート、日常の授業への取り組み等々を総合的に判断して出した成績 (総合点) をもとに、下記の判定基準により S から F までの評価をします。

■ 判定基準

評価	成績(総合点)	判定	GP	内 容
S	100点～90点	合格	4	特に優秀な成績
A	89点～80点		3	すぐれた成績
B	79点～70点		2	その科目の要求を満たす成績
C	69点～60点		1	合格と認められる最低限の成績
F	59点以下 および 履修放棄	不合格	0	合格ラインに達していない成績 期間内に履修辞退の手続きを取らなかったもの 出席数不足などで受験資格を喪失したもの
T	単位認定	GPA 対象外	—	留学や他大学での単位修得(GPに換算しない)
P	成績評価はしない	合格/不合格	—	合格すれば単位を認定するがGPに換算しない

※指定された期限内に履修辞退の手続きを済ませたものは評価の対象から除きます。

※次の科目は、評価を P として扱います。

現代コミュニケーション学科

ツアー・プランニング研修

フィールドワーク (インターンシップ I・II・III)

キャンパスワーク フィールドワーク (地域連携 I・II) キャリアプランニング演習

食物学科

キャリアプランニング演習 インターンシップ 特別研修 (テーブルマナー)

■ GPA の利用

毎学期の GPA を参考に、学生一人ひとりに対して、ゼミ担任またはクラス担任からきめ細かな指導が行われます。場合によっては、保証人（保護者）との面談もあります。

現代コミュニケーション学科

- GPA が 1.25 以下の場合、または単一学期の取得単位数が 10 単位以下の場合、ゼミ担当教員による面談を行う。

食物学科

- GPA が 1.3 以下の場合、担任による面談を行う。
- GPA が 1.00 以下の場合、保証人に連絡のうえ、面談を行う。

■「成績通知表」・「成績証明書」

- (1) 「成績通知書」は、次学期のオリエンテーション（9月、4月）で配布します。2年生の後期の成績は卒業礼拝日に配布します。
- (2) 「成績通知書」には、履修科目の成績のほか学期ごとの GPA および通算の GPA が表示されます。
- (3) 「成績通知書」は、保証人にも送付されます。
- (4) 「成績証明書」には、不合格科目は表示されません。GPA は通算のみ表示されます。

■成績不服申立制度

「成績通知表」に記載された成績評価に関して疑問がある場合や異議を申し立てたい場合は、「成績通知書」を受け取った日から1週間以内に「成績評価に関する不服申立書」（所定用紙）に必要事項を記入のうえ、学部事務室に提出してください。ただし、正当な理由がある場合に限りです。

6 CAP 制度

学生が履修登録した科目に責任を持ち、自主的、意欲的な学習に取り組み、学んだ知識や技能をより深くかつ確実なものとするため、履修登録単位数に上限を設ける CAP 制度を導入し、下表に示すように年間の履修登録単位数に上限を設けています。なお、前期に不合格となった科目の単位数を、後期の履修に持ち越すことはできません。

■年間履修登録単位数の上限（年間）

【現代コミュニケーション学科】

学 年	1 年次	2 年次
上限単位数	38 単位まで	44 単位まで
特例超過単位	GPA が 3.5 以上の場合、年間 4 単位まで超過単位を認める	

1. 1年生については、前期試験結果による GPA が 3.5 以上の場合特例超過単位数を認めます。
2. 2年生については、前学年終了時点での GPA（前後期通算）が 3.5 以上の場合特例超過単位を認めます。